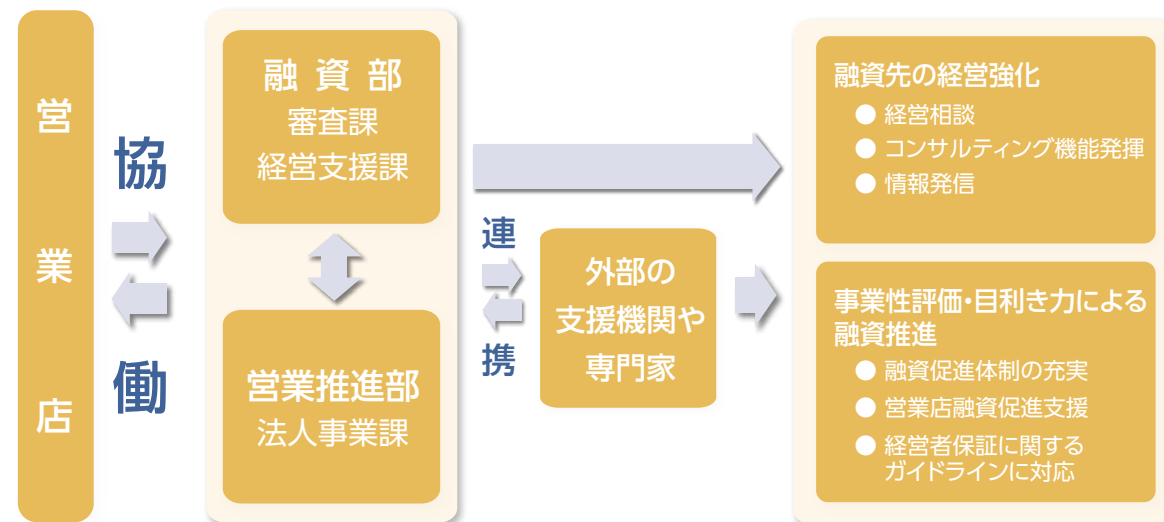


企業の活力を支援する取組み

当金庫では、企業経営のさまざまな課題について中小企業診断士がお客様からの相談内容に応じて、財務改善を中心とした経営診断、経営計画等の策定などのお手伝いをいたします。また、信用保証協会、政府系金融機関や地元商工会と協調し、お客様と強固な信頼関係を構築いたします。より専門的な支援として、地域経済活性化支援機構や中小企業再生支援協議会とも連携し、再生支援を行います。



経営相談・経営支援

お取引先に専任の中小企業診断士が財務指導や経営相談を行い、事業者様のご要望にお応えしています。

平成 28 年度の取組み状況について

平成28年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たし地域密着型金融の更なる深化を図るため、次のことを重点施策として金融仲介機能の発揮、地域経済活性化への貢献、および利用者の金融ニーズに積極的に取組み、中小企業向け融資は 4,059 先、融資残高 969 億円となりました。メイン先は 2,653 先、融資残高 736 億円となり、売上や営業利益率等の経営指標が改善した先は 401 先、融資残高 158 億円となりました。
(中小企業向け融資のうち、保証協会付融資残高 228 億円 (23.5%)、100%保証付融資残高 61 億円 (6.3%))

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。ライフステージ別の与信先数（融資残高）は、創業期 175 先（44 億円）、成長期 265 先（84 億円）、安定期 1,791 先（445 億円）低迷期 98 先（18 億円）、再生期 813 先（325 億円）となり、事業のライフステージに応じた各段階でのきめ細かい支援に取組み、地域経済の活性化のための資金供給や情報提供・経営相談・改善支援などを行いました。貸出条件の変更等にも真摯に対応し、資金繰りの円滑化を図りました。

- ① お取引先との信頼関係を深化させ、財務・定性情報に基づいた実態把握と経営課題の把握・共有に努めました。企業のライフステージや事業の持続可能性を見極め、最適なソリューションの提案に努めました。
＜経営支援先として 40 先を選定、うち新規改善支援取組み 10 先、改善計画策定 2 先＞
- ② 外部機関と連携したより専門的な支援を行いました。
 - ・外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数 7 社
 - ・経営改善事業（中小企業再生支援協議会の計画策定 1 件、兵庫県経営改善支援センターの計画策定 3 件、兵庫県信用保証協会の経営サポート会議 7 件など）
 - ・専門家派遣事業 専門家派遣 12 件（兵庫県信用保証協会、中小企業庁ミラサポ、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点など）

- ③ 企業のライフステージを見極め、各種の中小企業支援施策を活用した支援を行いました。

- Ⅰ 取引先の本業支援に関連する支援 23 先
- Ⅱ 他の金融機関との提携・連携による支援 3 先
- Ⅲ 政府系金融機関との提携・連携による支援 32 先

●創業・新規事業開拓の支援

- ・事業の成長可能性を評価し、地域の活性化に向けた支援を行いました。
＜創業・新事業融資 36 件 874 百万円＞
- ・日本政策金融公庫とも連携した開業支援を行いました。＜創業関連 7 件 493 百万円＞
- ・創業計画の策定支援 2 先
- ・創業期の取引先への融資 22 先（うち信用保証付 12 先）
- ・政府系金融機関や創業支援機関の紹介 4 先

●成長段階における支援

- ・融資審査能力・目利き力の向上等の人材開発に努め、事業性評価に基づいた融資に努めました。
＜設備投資など「成長・育成」につながる新規融資 324 件 6,189 百万円＞
- ・新たな販路の獲得の支援
「個別商談会の開催（11月17日）」バイヤー 10 社 参加事業所 21 社 成約 3 件（3 件継続中）
「川上川下ビジネスネットワーク事業」新たに 3 社の調査依頼を受付。
- ・日本政策金融公庫と連携した支援を行いました。＜成長関連 37 件 1,177 百万円＞
- ・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」「各地公体等の補助金」等の申請に関与し、手続きの支援や資金調達のアドバイスを行いました。
＜補助金等交付 24 件 34 百万円＞＜協調した融資 18 件 170 百万円＞
- ・事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めました。

● なかしん個別商談会開催 ●

平成28年11月17日（木）に地元事業者と大手百貨店、インターネット通販サイトを結ぶ第 4 回「なかしん個別商談会」を開催しました。今回は、地元 21 事業者とバイヤー企業（買い手）10 社が参加され延べ 71 件の商談が行われました。バイヤーの各ブースに参加事業者が訪れ、約 30 分で自慢の商品（スイーツ、お酒、ハム、ヨーグルト、お茶、ドレッシング等多数）を説明されました。バイヤーは試食も行いながら素材や製法などについて質問等を重ねられました。「初めての味や食感到感動しました」との声も多数聞かれました。平成 29 年 4 月末現在で契約や商品納入は 3 先、商談継続中は 3 先という状況です。



《商談会の様子》



初回の商談会から参加されている（株）やながわ（担当：秋山茂樹さん）は、「商談会をきっかけに関東の小売、卸売業者へ定期的に商品を納入するようになり、関東圏への売込みの足掛かりになっています。今後も地元の優れた素材を使った自慢の商品を、関東だけでなく全国的に売り込み、弊社の取り組みが地域の活性化に繋がるよう次回商談会も参加したい。」と語られました。地元の事業者が地元食材を利用した魅力あふれる商品を紹介することで、広く情報発信を行い販路拡大に結びつくことを目的として開催を継続的に計画してまいります。

●経営改善・事業再生、条件変更等の支援

- ・改善計画の策定や条件変更等においても、お取引先の実態と申込み内容の妥当性と実現可能性を検証し円滑化支援を行いました。また、必要に応じて他の金融機関等と緊密な連携を図りました。
- ・貸付の条件変更先からの新規融資の申込みに対しても、改善計画の内容や債務償還能力を検証し適切に対応しました。＜円滑化関連 94 件 935 百万円＞
- ・中小企業者の債務者区分ランクアップ実績 28 先（うち、集中的に支援を行っている経営支援先では 4 先）
- ・事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建や当該企業の取引先への影響を踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行いました。

●経営支援等の取組み実績（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

		(単位：先数)					(単位：%)		
		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	αのうち再生計画を策定した先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	①	3,460	9		8	5	0.3		55.6
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	361	17	2	14	8	4.7	11.8	47.1
	うち要管理先 ③	48	5	1	4	3	10.4	20.0	60.0
破綻懸念先	④	91	9	1	7	5	9.9	11.1	55.6
実質破綻先	⑤	85	0	0	0	0	0.0	—	—
破綻先	⑥	28	0	0	0	0	0.0	—	—
小計（②～⑥の計）		613	31	4	25	16	5.1	12.9	51.6
合 計		4,073	40	4	33	21	1.0	10.0	52.5

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。
※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

●事業承継への支援

- ・中小企業基盤整備機構の事業承継コーディネーターによる職員向け勉強会を行いました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地方創生に向けた金融機関の役割を踏まえ、地域の各種団体等との連携を深めた地域活性化への貢献に取組みました。

- 地域の各種団体等との連携
地元の地公体や商工会等と連携した会議等にも積極的に参加しました。
- 北近畿中小企業支援連絡会議への参加
北近畿の金融機関が連携して取引先の円滑化支援を行う仕組みに参画し、協調改善に向けた情報交換を定期的に行うと共に、お取引先向け経営戦略セミナー（福知山会場、豊岡会場）も開催しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

お取引先の利便性の向上に向け、積極的な情報発信を行いました。

- NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、レポート配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行いました。
 - ◇新人若手社員研修 テーマ：「社会人としての意識改革・行動改革」 講師：(株)タナベ経営
 - ◇経営セミナー テーマ：「選挙後の政局の行方」 講師：岸井成格
 - ◇経営セミナー テーマ：「戦略実行のためのリーダーの条件」 講師：(株)タナベ経営
 - ◇経営セミナー（2 会場） テーマ：「中堅女性社員活性化セミナー」 講師：(株)日本マネジメント協会



新人若手社員研修



選挙後の政局の行方



戦略実行のためのリーダーの条件



中堅女性社員活性化セミナー

- 第 18 回なかしんふるさと賞「商工業、伝統工芸・文化、スポーツ、ボランティア部門」において、地域に貢献され活躍されている 14 の団体・個人を顕彰し地域に紹介しました。
- なかしん年金友の会「わくわく倶楽部」の優待サービス提携施設を増加充実させ、地元観光業者の広告と販促に貢献しました。
- 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。
- CS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。＜CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500 先、うち回答数 584 先＞



なかしんふるさと賞



わくわく倶楽部



景況レポート



CS アンケート

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、平成 28 年度に当金庫において、新規に無担保・無保証で融資をした件数は 15 件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は 0.61%、保証契約を解除した件数は 3 件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り）は 0 件です。

中小企業者等の金融円滑化に向けた基本方針

当金庫は、相互扶助の理念の下、地域の中小企業者の方や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融機関としての社会的使命を果たしてまいります。

1. 地域の中小企業者の方や個人のお客様の実態把握等を十分行い、必要で安定した資金を円滑に供給していくことが、地域金融機関の最も重要な役割であると考え、積極的な金融仲介機能を発揮していきます。
2. 事業資金や住宅資金を借入されているお客様から、条件変更等について相談や申出があった場合には、その要請を真摯に受け止め、抱えておられる課題解決に向けてきめ細かな対応を行います。
3. 経営相談や経営再建計画の要請等に対しても、十分な話し合いを行い、お客様と一体となって事業等についての改善や再生のための経営支援に取組みます。
4. お客様からの申出について、他業態も含め関係する他の金融機関等がある場合には、他の金融機関等と緊密な連携を図りながら、地域金融の円滑化に努めます。
5. 金融円滑化に関する取組みがより適切で有効に機能するように、組織的な管理体制や職員に対する研修・指導等についても、適宜見直しや改善をはかります。

金融円滑化への取組みについて

中小企業者の方や住宅ローンをご利用のお客様からのご相談に幅広くお応えし、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めています。

1. 金融円滑化管理に関する方針

当金庫は、地域の健全な事業を営む中小企業及び個人のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取組むことは、当金庫の最も重要な役割の一つであると認識し、適切なリスク管理体制の下、金融仲介機能を積極的に発揮して行きます。

2. 借入条件の変更等の申込みに対する対応状況を把握するための体制

借入条件の変更等のお申込みに対する対応状況を適切に把握するため体制を整備し、お客様からのご相談・お申込みに積極的に対応しています。

金融円滑化管理体制

- ◇総括責任者…………… 理事長
- ◇管理責任者…………… 融資部担当役員
- ◇営業店責任者…………… 支店長
- ◇営業店相談窓口担当者…………… 各支店融資担当役席
- ◇経営支援・苦情相談窓口…………… 融資部経営支援課担当者

3. 借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うための体制

借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うため各営業店においては、「金融円滑化ご相談窓口」を設けて「相談窓口担当者」を配置し、本部においては、「経営支援・苦情相談窓口」を開設し、借入れ条件の変更等に係るお客様からの苦情・相談に営業店、関連部署と連携のうえ適切に対応しています。

4. 中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制

中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うために、経営相談や経営指導の専担部署として、融資部内に経営支援課を設置しており、営業店と一体となってお客様の経営の改善や事業再生の支援を行います。

地域のみなさまとのふれあい

地域行事への参加

平成 28 年度もなかしんでは多くの職員が地域の夏祭りをはじめさまざまなイベントに参加させていただきました。

これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしていきます。



デカンショ祭り



柏原ふるさと夏祭り



丹波もみじの里ハーフマラソン



えびす祭り



愛宕祭



三田おどり



いちじまいきいきフェスタ



城東味まつり

第 21 回 なかしん年金友の会親睦旅行

毎年、年金友の会親睦旅行を企画して好評をいただいております。
今年度は伊豆の名湯「修善寺温泉」1泊2日の旅を平成29年5月に4班に分けて行いました。
371名の会員様にご参加いただき、親睦を深めることができました。
日時：平成29年5月15日～26日



婦人友の会

日帰り旅行や観劇等、趣向を凝らした企画でご好評をいただいております。
平成28年度は綾小路きみまろ公演と姫路城散策・酒蔵見学あるいは奈良薬師寺見学など各支店ごとに企画を行い、多くの会員様にご参加いただきました。行き帰りの車中も今日の公演等の話で盛り上がるなど楽しい1日を過ごしていただきました。



酒蔵見学



姫路城見学

第 13 回 なかしん理事長杯争奪囲碁大会

丹波市内の店舗合同で囲碁大会を開催いたしました。
77名の参加者が盤上で熱戦を繰り広げられました。
日時：平成29年3月20日
会場：中兵庫信用金庫 丹波本部



第 27 回 なかしん杯ゲートボール大会

三田市内の店舗合同でゲートボール大会を開催しました。
各地域で結成された9チーム45名の選手の皆さんがプレーされる姿に元気をもらいました。
日時：平成29年3月6日
会場：三田市青野ダム末野運動公園



第 35 回 なかしん理事長杯職域対抗テニス大会

丹波市内の各職域の在勤者を対象にテニス大会を開催しました。
109名が参加され、クラス別に熱戦を繰り広げられました。
日時：平成28年6月12日
会場：丹波の森公園テニスコート



文化活動への取組み

なかしんふるさと賞

平成11年より当金庫の営業地域において商工業、伝統工芸・文化、スポーツ、ボランティア活動などの分野で地道に努力され、地域の活性化や発展に貢献された方を顕彰しています。
平成28年度は14の個人や団体の方々が受賞されました。
日時：平成28年10月21日
会場：三田ホテル



新春講演会

柔道全日本男子監督の井上康生氏を講師にお迎えし、「柔道と私～夢と希望に向かって～」と題して講演会を開催いたしました。リオ五輪までの道のりや、柔道を通じて強さだけでなく人間性を高めていくことの重要性について講演していただきました。
日時：平成29年1月22日
会場：丹波の森公園



信用金庫の日の活動

交通立番

平成28年度も定期的に通学路の交差点で子どもたちの安全確保のため交通立番を行いました。



清掃活動

地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて全店で一斉に店舗周辺、公共施設等の清掃活動を行いました。



ロビー展

定期的に地域の団体や個人の方々の作品を各支店のロビーに展示させていただきました。



献血

地域貢献活動の一環として丹波本部・三田本部において献血を行いました。



特殊詐欺の撲滅

振り込み詐欺などの特殊詐欺被害防止のため声掛け訓練とチラシ配布を行いました。



トライやる・ウィークの受け入れ

中学生の体験活動週間「トライやる・ウィーク」の趣旨に賛同し、各営業店で中学生の受入を行い、当金庫の業務を体験していただきました。



なかしんからのお知らせ

ステッキホルダーの設置

高齢の方や障害をお持ちの方が、安心してご来店いただけるよう窓口やATMコーナーにステッキホルダーを設置しました。



広報誌「ふれあいの発行」

身近な話題や情報を掲載した広報誌を定期的に発行しております(年4回 春・夏・秋・冬)



ウディタウン支店は土・日曜日も営業しています。

ウディタウン支店は、土・日曜日も休まず営業しており、より親しみの持てる明るい店舗と職員の爽やかな笑顔で皆さまのご来店をお待ちしております。

当支店では、大通りに面して「まちかど広場」を設け、広場と連続するように設けたコミュニティーサロンを地域の交流の場として提供しています。

平 日 (営業時間 9:00 ~ 15:00 まで)
土・日 (営業時間 10:00 ~ 16:00 まで)
(但し年末年始・祝日は除く)



トピックス！

地域貢献

丹波市青垣町地区の小学校4校が統合し4月に開校した市立青垣小学校に校旗を寄贈しました。
贈呈式：平成29年2月1日



熊本応援キャンペーン実施

昨年の熊本地震で被災された事業者様の復興支援を目的に、夏と冬のボーナス時期に合わせ、熊本応援定期預金の募集を行い多くの方の賛同を得ることができました。

